

はなわ 議会だより

2019
No.145

発行／福島県塙町議会
平成31年1月25日

おゆうぎ会がんばりました
塙保育園

12月定例会

- 議員定数と報酬見直し(12月定例会)… P 4～5
- 町政を問う(一般質問)…………… P 7～16
- こども園工事着工へ(11月臨時会)…… P 18
- 委員会レポート(総務・経済・予算決済) … P 20～21



塙町議会ホームページ
QR



塙町議会フェイスブック
QR



塙町議会ツイッター
QR

聞かせてください皆さんの声

町民と議会の意見交換会開催します

顔が見える、開かれた議会を目指す埴町議会では、今年も意見交換会を実施します。平成30年中の議会活動報告や、皆さんからの議会に対する要望や提言などをお聞きし、未来のまちづくりや議会の活性化につなげます。

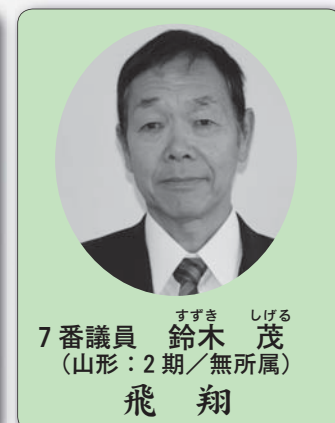
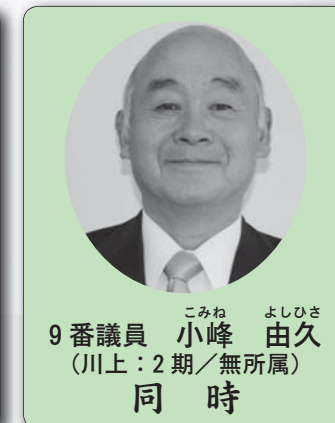
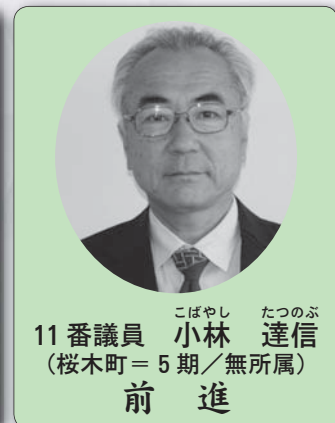
■日時 平成31年2月11日(月) 建国記念の日
午前10時から12時(予定)

■場所 防災センター3階会議室
(埴町役場北側)

※車でお越しの際は役場前駐車場をご利用ください

■テーマ ①少子高齢化対策について
②埴町の公共交通について

・意見交換会の結果については、後日議会だよりやホームページなどでお知らせします。



2019年も町政発展のため全力を尽くします

議員定数と報酬に結論



次期改選より定数1人減 報酬月額1万円増

12月
の
会
の
あ
ら
ま
し
定
例

12月定例会は、12月13日(木)から17日(月)までの5日間の会期で開催しました。

町長提出の条例関係5件(町長や職員の給与及び手当見直しや放課後児童育成事業運営改正など)、工事請負変更契約1件、補正予算7件(一般会計及び特別会計)が上程され、いずれも原案どおり可決しました。また、12月13日付けで議員発議3件(定数削減、報酬増額、各常任委員構成の見直し)が提出され、こちらも原案どおり可決しました。

これまでの定数と報酬協議経過

平成23年の地方自治法改正により「議員定数は条例で定める」事となり、当時埴町議会でも特別委員会を設置し、議員定数を維持(14人)しつつ報酬削減としましたが、昨今の少子高齢化による人口減少の加速や、地方議会議員の担い手不足など様々な諸課題から、「埴町議会としてのあるべき姿」を議論・検討するため、平成28年7月より立ち上がった「議員定数等検討協議会」(鈴木茂会長ほか議員5人)と、議員全員が協議調整を行う場である「全員協議会」で約2年間検討をしてきました。

またその間にも、福島県西郷村、西会津町、猪苗代町、宮城県村田町議会への視察や、平成30年1月に町内全世帯を対象としたアンケートを実施し、結論への参考としました。

こうした経過を経て、平成30年9月11日に条例改正へ向けた方向性(検討協議会案)を示し、同月13日の全員協議会にて、定数を「現状維持」、「1人減」、「2人減」、「4人減」と、議員報酬「3万4千円増額」、「2万円増額」、「1万円増額」、「現状維持」を協議し、平成30年12月定例会へ上程する議員発議内容を決定しました。

議員定数条例の一部改正

現状の議員定数14人を13人と1人削減するもの。埴町の広域性と特色ある各地区の住民意見を町政へ反映するため削減は最小限とする。施行は平成31年1月1日以降初めてその期日を告示される一般選挙から。

Q 議会基本条例による議会活動をしているが、町民の声を議会に反映すると記してある。過日町民有志703人からの要望書が提出されたが、民意をどのように把握していたのか。

A 町民アンケートにより全議員が把握していた。9月13日の全員協議会にて最終決定した内容であり、その後要望書が提出されたとしても、この決定は大きく覆ることはない。

議員報酬条例の一部改正

現状の議員報酬月額を1万円増額するもの。平成24年町議選前に定数維持のまま報酬を減額したが、県内でも下位になっている報酬を増額させることで、今後の議員担い手確保につなげる。施行は、条例の公布日以降初めて行う一般選挙により埴町議会議員になった者の任期初日から。

定数を削減しても報酬を平成24年以前に戻す事を望む。今の報酬は定数を減らす替わりに報酬を減額したが、現状県内でも下位に甘んじている点と、「定数減に真正面から向き合わなかった結果である」という点では納得できるが、若い30〜40代の世代から議員の成り手が出て来ない。現状の報酬でも町民から様々な声を聞くが、個人的には報酬を戻し、少しでも出馬しやすくするのが我々の立場ではないか。そして報酬に見合った働きをし、町民に信頼される議会や議員になるべきである。

埴町議会委員会条例の一部改正

議員定数の1人減に伴い、各常任委員会の委員定数を見直すもの。施行は、条例の公布日以降初めて行う一般選挙により埴町議会議員になった者の任期初日から。(全員賛成で可決)

採決結果

発議第3号 埴町議会議員 定数条例の一部改正	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	高緑光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
原案可決(賛成 10 : 反対 3)	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、●：反対 ※なお議長(大縄武夫)は採決に加わらない

採決結果

発議第4号 議会議員の議員報酬、 期末手当費用弁償に関する 条例の一部改正	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	高緑光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
原案可決(賛成 10 : 反対 3)	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、●：反対 ※なお議長(大縄武夫)は採決に加わらない

議員発議3件の条例改正まとめ

内容	現行	改正後	
議員定数	14人	13人	
報酬	議長	月額:272,000円	月額:282,000円
	副議長	月額:206,000円	月額:216,000円
	議員	月額:188,000円	月額:198,000円
委員定数	経済常任委員会	7人	6人
	予算決算常任委員会	13人	12人

一般選挙：議会議員全員を選出選挙で、任期満了(4年)だけでなく、議会解散などの場合もある。現職議員の任期は2020年3月30日まで。



(反対討論)
吉田広明議員



(反対討論)
藤田一男議員

一般質問 町政を問う



議員名	質問事項	ページ
しもじゅう 下重 義人	1 行財政改革 2 感染症対策 3 教育アンケート	P 8
あおと 青砥 与藏	1. 行財政改革 2. 有害駆除対策	P 9
よしだ 吉田 広明	1 行財政改革大綱 2 シェアハウス検討 3 地産地消の取り組み	P 10
すずき 鈴木 やすつぐ 安次	1 ダリア生産者確保 2 都市交流事業 3 埴工高関連 4 人口減少対策	P 11
すずき 鈴木 しげる 茂	1 町の教育施策 2 イノシシ駆除	P 12
よしだ 吉田 かつのり 克則	1 町長行政報告 2 町税の公平な支出 3 兼業禁止と双方代理 4 陳情の受付	P 13
ななみや 七宮 ひろき 広樹	1 ダリアの展開 2 保育園跡地 3 交流人口増加対策	P 14
わりがい 割貝 としかず 寿一	1 敬老会開催方法	P 15
こうえん 高縁 ひかる 光	1 タクシー利用助成 2 町の奨学金制度 3 体育館へのエアコン設置 4 外国人労働者	P 16



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。

一般質問とは

議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。

一般会計補正予算審議

【主な事業】

- ・温泉熱利用システム測量設計委託及び導入工事費 ▲4008万円
- ・湯遊ランドの温泉熱を再利用する計画が、事前調査で使用不適が判明したことによる減額補正。
- ・農業水路等長寿命化防災減債事業調査計画策定委託 1100万円
- ・老朽化した農業用水路の改修を目的とし、西河内地内松田川の排水路と釜藤堰から上石井方面の水路調査。
- ・観光資源整備事業補助金 200万円

観光資源である久慈川堤防の桜やつつじが、サイクリングロード通行の妨げにならないよう整備するための補正増額。

- Q** 役場西駐車場の整備委託先は。
- A** 町に指名願を提出している業者から選定する。
- Q** 子ども・子育て支援事業計画利用希望把握調査とは。
- A** 小学生や未就学児の保護者を対象に、居住地域、家族構成、保護者の就労状況、平日の定期的な教育利用希望などをアンケート調査するもので、委託先は今後選定し結果は公表する。
- Q** 観光交流費400万円補正増額は、なぜ地方債としたのか。
- A** 過疎債として起債する事が有利であると判断した。
- Q** 今回補正に係る観光交流費の支出相手方と、支出に係る法令遵守は。
- A** 一般財団法人埴町観光協会の会長であり、法令遵守した支出である。
- Q** スクールバス運行委託料80万円減額補正の内容は。
- A** 当初予算で、町内の幼稚園から中学校の各種事業に対応するため計上したが、夏季休業中や中体連などでの使用が少なかったため減額する。(全員賛成で可決)

議案の審議結果

議案番号	議案内容	審議結果
発議第3号	埴町議会議員定数条例改正	議員定数を削減(14人→13人)
発議第4号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例改正	月額議員報酬を1万円増額
発議第5号	埴町議会委員会条例改正	議員定数削減による各常任委員会の定数見直し
議案第57号	埴町一般職任期付職員の採用等に関する条例改正	平成30年福島県人事委員会勧告に準ずる給与改定
議案第58号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例改正	議員の期末手当を0.05月分増額
議案第59号	町長等の給与及び旅費に関する条例改正	町長等の期末手当を0.08月分増額
議案第60号	職員の給与に関する条例改正	平成30年福島県人事委員会勧告に準ずる給与改定
議案第61号	埴町放課後児童健全育成事業の設備及び運営基準を定めた条例改正	放課後児童支援員の資格拡大(上位法改正)
議案第62号	工事請負変更契約の締結について	町道桜木町末広線改良工事の契約変更(▲2,032万円)
議案第63号	平成30年度埴町一般会計補正予算(第4号)	CO2排出抑制対策事業補助金の減など(▲1,564万円)
議案第64号	平成30年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	職員給与及び諸手当など(13万円)
議案第65号	平成30年度埴町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第3号)	職員給与及び諸手当など(5万円)
議案第66号	平成30年度埴町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	職員給与及び諸手当など(17万円)
議案第67号	平成30年度埴町介護保険特別会計補正予算(第2号)	介護給付費見込算出による減など(▲51万円)
議案第68号	平成30年度埴町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	後期高齢者医療広域連合への納付金など(128万円)
議案第69号	平成30年度埴町上水道事業会計補正予算(第1号)	事業確定による国庫補助金額の減など

原案可決

請願審査結果	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥与藏	高縁光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫	
請願第4号 後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願	●	●	○	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	—	不採択 (賛成4:反対9)

○：賛成、●：反対 ※なお議長(大縄武夫)は採決に加わらない



よしと 義人 議員

義に死するとも
不義には生きず

役場庁舎の耐震診断は 耐震性ランクBである

質問 平成23年の東日本大震災後、役場本庁舎の耐震診断結果は。

答弁 耐震ランクBであった。ランクBとは、倒壊する危険性は低いものの防災拠点として安全を確保できない恐れがあり、そのため防災センターの整備を行った。

質問 災害時に本庁舎機能が長期的にダウンした際の窓口業務などはどうするのか。

答弁 「埴町地域防災計画」に基づき、業務及び町のICT部門業務を継続させるために必要な措置を行う。

質問 本庁舎内の空調設備が、使用年数超過により不具合が発生しているのではないかと。平成30年度も冷却器の不具合が発生したが、修理等の対応はできない状況である。来年度実施の本庁舎一部改修に合わせて、冷暖房設備の入替を計画している。

質問 本庁舎建設から47年経過しているが、建て替えの考えはあるのか。

答弁 財政難でもあり今は考えていない。後に考えなくてはならない時期が来ると思う。



建設から約半世紀が経過する役場本庁舎

一般質問

はなわこども園(仮称)における感染症対策は使用済み紙オムツは園で処理する

質問 はなわこども園(仮称)の園内での使用済み紙オムツの対応は。

答弁 使用済み紙オムツは当園で処理する。ただし感染症等が疑われる排泄物は、保健所の指導に従いながら診察を受ける際のために、持ち帰らせる対応を行う。

質問 感染症対策ガイドラインに沿ったオムツ交換場所は。

答弁 衛生面に対応した場所を設けている。

アンケートの目的は

意見や要望を把握するため

質問 埴町立幼稚園、小学校及び中学校でのアンケートを実施している目的は。

答弁 授業の理解度や、保護者、児童生徒がどのような意見や要望をもっているのかを把握するため。

質問 アンケートを参考に、どのような改善を図ったのか。

答弁 アンケートを参考に、学校運営の改善に努めた。

質問 学校運営ビジョンや次年度の教育課程編成、教育計画作成、日常的な教育活動の改善、学校環境の改善整備等に反映させている。

質問 さらなる学校運営改善と子供達の未来のために図ってもらえるのか。

答弁 アンケートを参考に、学校運営の改善に努めた。

行財政改革組織のスタートは

平成31年1月より実施

質問 少子高齢化による影響は、商工業・学校・消防団・行政区など、様々な団体で組織維持に苦慮し、今後ますます社会保障費の増大が予想されるため、現実的にはコンパクトな行政運営が求められる。以前の一般質問で、「町財政悪化による、思いきった財政運営の抜本的改革を行っていくため、行財政改革推進委員会

を組織する」とあったが、現在の活動状況は。

答弁 スタートが遅れてしまったが、平成31年1月に組織を立ち上げ、2月から実施計画を立てて活動したい。

質問 平成30年12月11日の全員協議会で、行財政改革大綱(案)が示されたが、改革の項目をいつまでにどのように行うのか。

答弁 各課長の管理下で行われている。

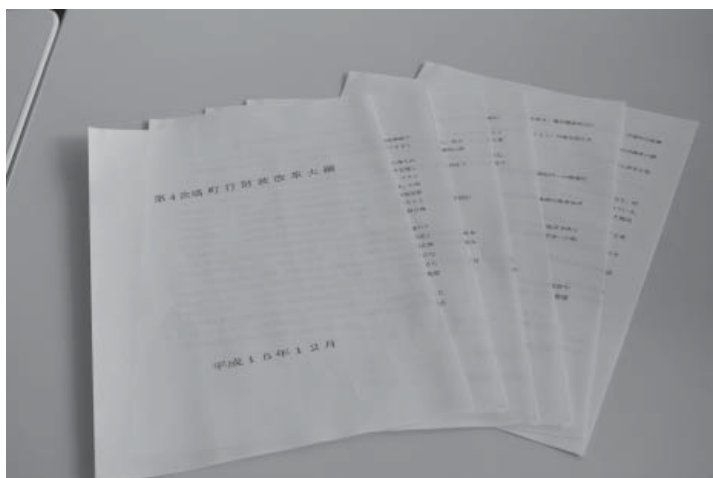
質問 タイムカードや日報をつけたらどうか。

答弁 検討したい。

答弁 議員から意見を聞きつつ、諮問項目や行程表を作成する。

質問 職員の時間外労働が管理者である課長の許可や指示がない状態で行われているのではないかと。

答弁 各課長の管理下で行われている。



前回策定の第4次大綱

質問 耕作放棄地が増えている現状に、どう対応していくのか。

答弁 現状を大変心配している。年間350頭のイノシシを捕獲している。また電気柵による地域ぐるみの対策を実施しているが、被害は減らない状況である。

質問 行政区にお願いして、地域ぐるみで一年間にわたる駆除が必要ではないか。

答弁 行政区での駆除は難しい。行政主体であれば可能だと思われ、協力して頂ける方に、見回りやエサの補充などをお手伝いいただき、今年度より通年駆除を実施する。



あおと 青砥 議員

ななえ の 七重の 膝を
八重に折る

通年有害駆除対策が急務 行政主体で対応する



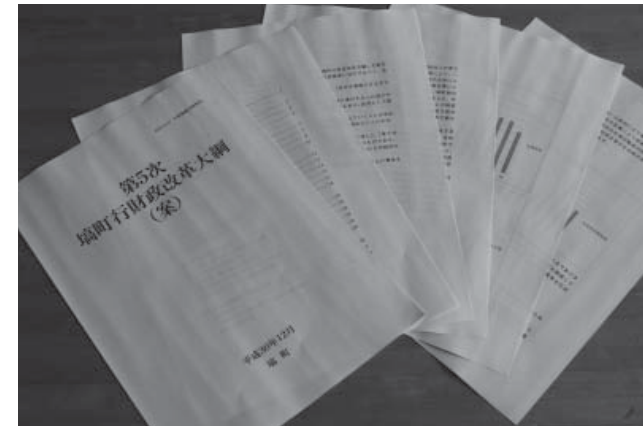
よしだ ひろあき 吉田 広明 議員

子育て環境整備に本気で取り組んで欲しい

第5次埴町行財政改革大綱を策定する意味は

意識と目標を明文化したものである

【質問】「第4次埴町行財政改革大綱は、厳しい財政環境の下、複雑多様化する行財政需要に対応すべく、各種事務事業の改革を目指してきた」とあり、現在の状況とさほど差はない。実践していたのであれば、行政改革は人事や補助金、その他の実務が見直され、成果が出ていたはず。【答弁】行財政改革大綱は行政マンであれば当然、コスト意識、費用対効果の意識、無駄の排除、事業の効率化等の意識を記したものである。常に意識を持ち続け業務にあたらない。



案が示された第5次大綱

【質問】第4次は、平成25年に終了している。「空白の5年間」は何を基に業務運営を行ってきたのか。【答弁】終期は平成26年3月であったが、周期を待たずに東日本大震災があり、混乱状態であったと想定している。その後の社会全体の考え方も大きく変わり、新たな策定が必要になった。

高齢者向けのアンケート結果は

月10万円程度の施設なら利用したい

【質問】「シェアハウスの計画を諦めないで進めて行きたい」と答弁もしている。今すぐにも実施すべきであるが、平成31年度の振興計画（案）にある「高齢者向けシェアハウス」の構想や入居費用は、どのようなものか。【答弁】矢祭町の軽費老人ホームは収入により異なるが、月額八万八千七百四円から十六万九千二百六円である。埴町には、要

介護、要支援の施設は民間があり、専門的な機関にお願いしながら、埴町が考えているシェアハウスは、「自立して生活できる高齢者の介護予防の施設」で高齢者の集う場所、冬季間の住居対策など、出来れば国民年金程度の低価格で利用できる多目的な施設を考えており、空き屋の活用を含め場所も検討し総合的に進めたい。

秋野菜の生産を依頼した結果は高齢化で道の駅の品目数が少なく困っている

【質問】学校給食の地産地消の取り組みで、道の駅を通じて、秋野菜の生産を依頼したが、品目や収穫量などの結果と春からの作付け計画はどうなっているのか。【答弁】道の駅の出荷者協議会に働きかけをしているが、作付け品目数や春からの作付けは、把握はしていない。働きかけを進め地産地消を継続的に進めたい。

ダリア栽培者の確保育成は

東西しらかわ管内の生産者を対象としている

【質問】広報はなわの表紙を、浅田真央さんの写真にした意図は。【答弁】国内外へ埴のダリア認知度を上げるため。【質問】ダリア生産者の育成や確保策はあるのか。【答弁】JA東西しらかわ管内の生産者を対象に募集している。【質問】町内での生産者確保策は。【答弁】企業が二社ほど埴町でダリアを栽培したいと希望している。



ダリアの生産者確保が急務

都市交流事業の目的は相互防災協定を締結している

【質問】都市交流事業の経過、目的と効果は。【答弁】葛飾及び練馬区と相互防災協定を締結している。【質問】埴町から援助マニュアルも策定すべきでは。【答弁】しっかり検証するお金がかかる。【質問】都市交流の恩人が亡くなったが、町長の対応は。【答弁】通夜に行った。【質問】現職町長として、弔辞を読む考えはなかったのか。【答弁】告別式で弔辞を読むべきであると助言があればありがたかったが、思慮不足であった。

埴工業高校活性化推進協議会の活動は

町内企業との話し合いをしている

【質問】埴工業高校活性化推進協議会の活動実績は。【答弁】平成29年度教育公聴会に参加した。【質問】町長は参加したのか。【答弁】参加していない。【質問】活性化協議会の会長としてなぜ参加できないのか。【答弁】行事が重なり、思うようにいかない。

人口減少対策はこども園と若者定住促進団地整備である

【質問】埴町人口ビジョン及び地方版総合戦略の検証と今後の扱いは。【答弁】外部有識者に委託し実施している。今後についてはしっかりと対応をしていく。



すずき やすつぐ 鈴木 安次 議員

リーダーとは町の方向性を計画しそこへ組織を導く人

一般質問

一般質問



すずき しげる 議員 鈴木 茂

子ども達の命を守り学力や道徳をしっかりと身につけさせることが町の将来に繋がる。

子供達の命を守る取り組みと 学力向上、教育環境充実を問う 様々な対策により充実させたい

質問 教育長としての第1の責務は子供達の命を守ることではないか。

答弁 そのとおりである。

質問 通学路の安全は確保されているか。

答弁 一部危険な場所があり、子供に注意を喚起し改善をお願いしている。

質問 グラウンドにあるサッカーゴールは安全に管理されているか。

答弁 毎月点検しており、体育の授業は安全確認後に行っている。

質問 町内の小学校や中学校でイジメはあるか。

答弁 小、中学校とも平成26年からあり、今年もあると報告を受けている。

質問 対策はどのようなものか。

答弁 スクールカウンセラーや指導主事が解決の確認をしている。

質問 イジメ防止対策委員会の役割は。

答弁 委員会にイジメの報告をして解決策などを話し合っている。

質問 学校への不審者進入防止策は。

答弁 入口のドアの施錠を行い、来校者はブザーで対応している。防犯教育も行っている。



子供を守るアクリル板

質問 対策としてアクリル防衝板を導入してはどうか。

答弁 笹原小にあり、他の学校にも導入したい。

質問 全国学力テストで中学の数学がかなり落ちているようだが。

答弁 若干ではあるが向上している。県の学びのスタンダード授業の指定を受けたので、さらに結果を出したい。

質問 対策として土曜授業や、チームティーチングはどうか。

答弁 チームティーチングは今年度全ての授業で行いたい。また特別講師による放課後授業を行っている。

質問 タブレットを導入すべきでは。

答弁 平成31年度に塙小学校に35台、笹原小学校に22台配置したい。

質問 教員を取り巻く環境が大事である教員の資質に問題がある、学級崩壊の報告は入っているか。

答弁 報告を受けて改善の指導を行っている。

質問 教員が心身の不調で休職したか。

答弁 昨年1名いた。

猟期外のイノシシ捕獲強化を 官民協力でやりたい

質問 イノシシの被害が拡大しており、町民より捕獲強化の要望が多いが、町はどのように認識しているのか。

答弁 被害が多く出ており農家の人達の事を考えるととても心配で苦慮している。

質問 猟期以外の捕獲が甘いが、駆除隊の人数と捕獲頭数は。

答弁 猟友会は14人で捕獲頭数は73頭である。

質問 おり罠を増やしてもらいたいと思うか。

答弁 今後増やしていきたい。

質問 おり罠を管理する受け皿組織つくるべきでは。

答弁 罠の巡回とエサの管理が大事である、取り組みたい地区があれば協力したい。

質問 猟期以外で自分の土地に罠はかけられないのか。

答弁 農産物販売目的の農地であれば箱罠（上部が空いている）が許可されている。

議会での町長行政報告

4つの町づくりを基本理念

質問 町長の行政報告で、「厚情をいただきながら」と言う言葉を使って町政を執行してきたとあるが。

答弁 皆様方の厚い情けの意味合いで使った。「精神的な支えをいただいた」という意味を含めた言葉と理解いただきたい。

質問 平成29年度事業実績で、こども園の建設用地取得とあるが、実際はいつ取得したのか。

答弁 土地開発公社からの買い戻しが平成29年度中だったが、敷地購入は平成26年6月と7月の2ヶ月で行った。

質問 チップ工場の建設にあたって、町はどのような関わり方をしたのか。

答弁 福島県の森林整備加速化事業補助金を活用し町道を整備した。自ら直接的に関ったことはなかった。

質問 福島県知事が来町され、町政全般の意見交換をしたとの報告だったがその内容は。

答弁 知事と二人で話し合い非公開である。ここで話をするのは大変難しく問題がある。

質問 4つの町づくりを基本理念にとあるが。

答弁 住みやすく暮らしやすい町であり、町の存続を含めた先々の事を考え、立てた4つの基本理念である。

町税の公平な支出関係は 不公平感をもっていない

質問 敬老会が町民にとって不公平な開催と思うが町長の考え方は。

答弁 敬老行事にお金をかけるのであれば、子供の教育や別な形でのお金の使い方もあると話される町民もいない。不公平感ももっていない。

質問 こども園建設に係る担当課は、町長指示で学校教育課としたのか。

答弁 指示はしていない。相談し決めたことだが、最後の決定は私が出した。



今年度の敬老会のようす

長の兼業禁止について 抵触しない

抵触しない

質問 長の兼業禁止と双方代理についての所見は。

答弁 観光協会との兼業禁止には抵触しない。

陳情の受け取り方は

福祉会館小研修室で

質問 各行政区からの陳情の受け取り方や取り扱いはどのように。

答弁 今年から、福祉会館小研修室で机を向かい合って話をする形態にした。その対応はきちんとしている。

よしだ かつのり 議員 吉田 克則

議場で役目から憎まれ口が出てしまうご理解を!

一般質問

一般質問



ななみや ひろき 七宮 広樹 議員

鏡は姿を写し
言葉は心を写す

今後のダリアの展開と夢は 2020 東京オリンピック・パラリンピック採用を目指す

質問 塙のダリアを知ってもらうために、多方面にPRをしたが、効果と成果は。

答弁 ダリア園来園者数8656人や、切り花の新たな販路や販売方法の確立、塙のダリアを強く印象づけ、町をPRすることができた。



池袋で開催されたダリアの華展

答弁 ダリアの大量増産体制を図り、球根からではなく苗からの生産を考えている。秋田県の国際ダリア園と協力して、オリパラ専用のダリアを作る計画を進めている。また、塙町でダリアを生産した企業が2社ほどある。

質問 ダリアのどのような花で、どのようなネーミングで、オリンピックに向けて提案するのか。また採用・不採用とは別に記念花として特許申請をするのか。

答弁 2018年新品種の金色と赤がまざった複色の花で、「メダリスト」と「レガシー」という名前で「特許」を取得する予定である。

●パテント：特許権

はなわこども園(仮称)完成後の塙保育園跡地利用は借地のため取り壊し地主に返す

質問 はなわこども園(仮称)完成後、塙保育園の跡地活用はどうか。

答弁 用地は借地であり、建物は解体し地主へ返すことを基本に考えている。

役場駐車場の満車状態緩和策は現在役場西側に駐車場整備を進めている

質問 役場西側に新たに駐車場の整備が進められているが、公用車と町職員専用の駐車場なのか。整備後の来庁者駐車場の緩和予測は。

答弁 職員の駐車場エリアと考えている。職員の通勤車両90台中60台分が西駐車場に駐車するので、かなりのスペースがあく。

質問 西駐車場を利用するには、道幅も狭く交互通行の町道だが、拡幅工事や安全対策は。

答弁 今後まち整備課と協議しながら、進めていきたい。通行利用については職員に指導していく。

交流人口増加の取り組みは モンベル・フレンドタウンを計画し、 ツール・ド・はなわを実施

質問 振興計画(案)の説明では、新たな取り組みとして「モンベル」との協議や「ツール・ド・はなわ」の継続が挙げられています。詳細は。

答弁 平成31年度に向けてモンベルフレンドタウンの計画を交渉している。Link FOHOKUと連携したツール・ド・はなわを実施する。

敬老会の開催方法は

今後も行政区主催は継続し、 町側も積極的に関わる

質問 今年も敬老会が町主催と行政区主催に分かれて行われたが、行政区主催は昨年の11行政区から18行政区へと増加し、対象者421人中約半数の213人が出席。一方町主催については対象者863人中25%の216人が出席であったが、行政区主催の敬老会が好評だった原因は何か。

答弁 湯遊ランドでは、お風呂に入ることができ食事もよく最後まで話し合いができる時間が過ごせるため好評であった。次年度以降の開催希望も聞いている。

質問 町主催は福祉会館で行われたが、並べられた椅子に座り、身動きもままならず昼食の置き場にも困っていた様子であった。主役は誰なのか。いたわりが不足していたのでは。

答弁 町主催は福祉会館で行われたが、並べられた椅子に座り、身動きもままならず昼食の置き場にも困っていた様子であった。主役は誰なのか。いたわりが不足していたのでは。



わりがい としかず 割貝 寿一 議員

公平公正の下
政策は熟慮を重ねるべき

質問 昨年より記念品を無くし、ハガキ持参による引き換えも行わなくなった事は、行政区主催と比較すると対応が厳しく思えるが。

答弁 地区ごとに細分化し余裕を持たせ、テابلを出せるように湯遊ランドに準ずるおもてなしができたか、町側として至らない点があったかと反省している。

質問 町が招待するのに、バス代等の経費を加味するのは適切でないと思う。また敬老祝金が昨年より減額され一律5000円となったが、今年度より米寿に祝金1万円が追加されたが、なぜ米寿なのか。

答弁 地域の自主性を促すため、一人あたりの経費を3000円とし、湯遊ランドではバス代がかからない。福祉会館では送迎用バス代と会場経費、謝礼金などかかるため昼食代費用が抑えられる。

質問 来年度の敬老会はこのようになるのか。

答弁 長寿の節目であり、町への貢献に対する謝意を表し、他市町村でも実施しているため。

質問 町内の80歳以上1284人中、参加者は約3割の429人である。長年の貢献に対する感謝の意を表すことが目的ならば、7割の不参加者にも何かあっても良いのではないか。



福祉会館で開催された町主催敬老会

質問 町内の80歳以上1284人中、参加者は約3割の429人である。長年の貢献に対する感謝の意を表すことが目的ならば、7割の不参加者にも何かあっても良いのではないか。

答弁 今までの行政区主催は継続し、難しい地区では町側が積極的に関わり一本化した。

答弁 不公平感があれば担当課長と検討したい。

このほかに総合健診関連と、町の役割について質問を行った。



こうえん ひかる 議員
高縁 光

今後働く人を大切にする
差別のない社会に

来年度からのタクシー利用助成制度実施は

全町実施が可能か財源を含めて検討

質問 今年度実施したタクシー利用助成制度の試験運行結果は。

答弁 平成30年9月1日から11月末まで高城地区で実施し、申請者は78名だった。

質問 利用した町民からの感想や意見は。

答弁 アンケート集計がこれからなので、現状把握をしていない。
質問 免許返納者や一人暮らしの方のためにも、来年度全町的に実施する考えはあるのか。
答弁 実施可能か財源を含めて検討する。



利用募集のチラシ

町の奨学金制度の現状は 毎年3名貸付できる状況

質問 奨学金の返済に苦む問題が発生している。国も給付型の返済不要奨学金を一部実施しているが、町の現状はどうか。
答弁 埴町では、奨学資金貸付基金条例に基づき資金の貸付を行っており、毎年3名貸付ができる。
質問 より良い奨学金制度を実施することで、埴町に住みたいと思う人も増えるのではないかと。
答弁 現行貸与型として実施しているが、貸付する原資が増えたり、国の制度が拡充されない限りは難しい。

技能実習生の実態は 5年前と比べて増加している

質問 技能実習で埴町に来ている外国人の実態は。
答弁 外国人は平成30年11月末現在で埴町に81名。その内技能実習による資格者は29名で、5年前と比べて15名増加している。
質問 労働者の受け入れに対して、国内の労働者と格差が無いような条件で受け入れることが必要と思うが。
答弁 埴町商工会が、外国人の技能実習生受け入れのための許認可を平成30年6月29日に受けた。町としても支援できる点があれば検討していきたい。

体育館へのエアコン設置は可能か

起債事業はあるが実施は難しい

質問 今年度は猛暑となったが、子供達の教育環境に問題はなかったか。
答弁 気温35度では校庭での授業は実施していない。また体育館で行う場合も温度計を設置し対応している。
質問 体育館は災害時の避難場所にもなるため、エアコンの設置が必要であると考えるが、設置のための起債や補助事業はあるのか。
答弁 東日本大震災に伴う緊急防災減債事業債が対象となるが、起債するための要件がかなり厳しい。

ひとことインタビュー

12月定例会の傍聴者数はのべ39人でした。傍聴された方の中からインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



かなざわ つとむ
金澤 勉さん(台宿)

山積する課題に 町と議会は改革を

傍聴したきっかけは
行政区長会の議会研修行事で議会傍聴をしました。

傍聴された感想はどうでしたか

今回議会を傍聴した時間は4時間でしたが、一般質問通告内容の議論が執行部側と登壇議員との間で噛み合わない場面や、質問時間のオーバーなどがあり、質問する側と受ける側どちらも内容をよく検討し、持ち時間内で

通告内容がうまくできるように努力すべきではないかと感じました。

議会に対する意見、要望はありますか

一般質問に登壇した議員は、質問内容の情報等を収集した内容を提示するなど努力されているように感じましたが、持ち時間内で質問通告内容が完結できるように、事前に準備をしたほうが良いのではないのでしょうか。

町に対する意見、要望はありますか

少子高齢化による人口減少など山積みする課題に対して、町執行部側と議会側ともに改革を進めていただきたい。
また町民や行政区の意見を勘案しながら、町民が参加できるところは協力し、地域が活性化するように進めていただきたい。

追跡レポート

あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

町内の防犯カメラ設置について 平成 29 年 6 月定例会

最近では子供達が犠牲になる事件が多発しているが、子供達を事件から守るためにも、通学路に防犯カメラを設置してはどうか。

答弁

犯罪の抑止には有効な事と認識している

事件や事故等での防犯カメラの有効性はある。
登下校時の犯罪抑止にも有効であるが、プライバシーと予算面の問題をクリアすれば設置を検討していきたい。

その後

平成 29 年度に 8 台導入

埜、常豊、笹原、高城の各防犯協会支部の意見を伺いながら設置箇所を決定し、各支部 2 台ずつとした。電力柱への設置は電力会社からの許可が下りないため、独立柱で設置。カメラの映像は 1 秒間に数コマの画像を記憶できる SD カードが内蔵されており、約 1 週間分の記録が保存されている。今後の設置状況等を見ながら、カメラの増設について決定していきたい。

高齢者向けシェアハウスの検討は 平成 30 年 6 月定例会

高齢者福祉計画・第 7 次介護保険事業計画に、比較的元気な高齢者が冬季間に自宅を離れ居間やキッチンなどを共有する施設で共同生活を行い、お互いの交流を通じて健康状態を確認することができる高齢者向けシェアハウスの検討をするあり、湯遊ランドの多目的交流施設が利用できないのか。

答弁

諸問題もあるが担当課と協議したい

湯遊ランドの多目的施設は、シックハウス症候群対応の建物であり、一部を福祉利用の目的で転用できるか検討したい。

その後

振興計画にシェアハウス調査費が案として示される

平成 31 年度～平成 33 年度埜町振興計画（実施計画）（案）の中に、高齢者向けシェアハウス調査の計画が計上される。また平成 30 年 12 月定例会一般質問にて、「埜町生活支援体制推進協議会でアンケートや聞き取り調査をしており、現在検討中の内容は、自立して生活できる高齢者の介護予防のため、高齢者の集う場所や冬季間の生活支援としての住居対策などで、国民年金程度の低価格で利用できる多目的施設である。」となった。

はなわこども園(仮称)建設工事開始へ

採決結果

議案第 56 号 工事請負契約の締結について	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	高縁光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
原案可決（賛成 10：反対 3）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成、●：反対 ※なお議長（大縄武夫）は採決に加わらない

11月

臨時会の あらかし

平成 30 年 11 月 9 日に第 7 回臨時会（会期 1 日間）が午前 10 時より開会されました。町長提出の議案 3 件（予算及び工事請負契約）の審議を行いました。

工事請負契約

はなわこども園（仮称）新築工事に着手する。すでに建設用地は取得及び造成済で、建築確認申請も終了している。建物は鉄骨平屋建て、延べ床面積 3, 130.68㎡。平成 32 年 1 月 14 日を完成予定としており、平成 32 年度開園に向けて工事が行われる。

契約金額
9 億 7 7 4 0 万円

契約方法

条件付一般競争入札（4 社入札参加）

契約の相手方

藤田・深谷特定建設工事共同企業体
代表者 藤田建設工業（株）
代表取締役社長 内藤 勇雄



〈反対討論〉 鈴木 安次議員

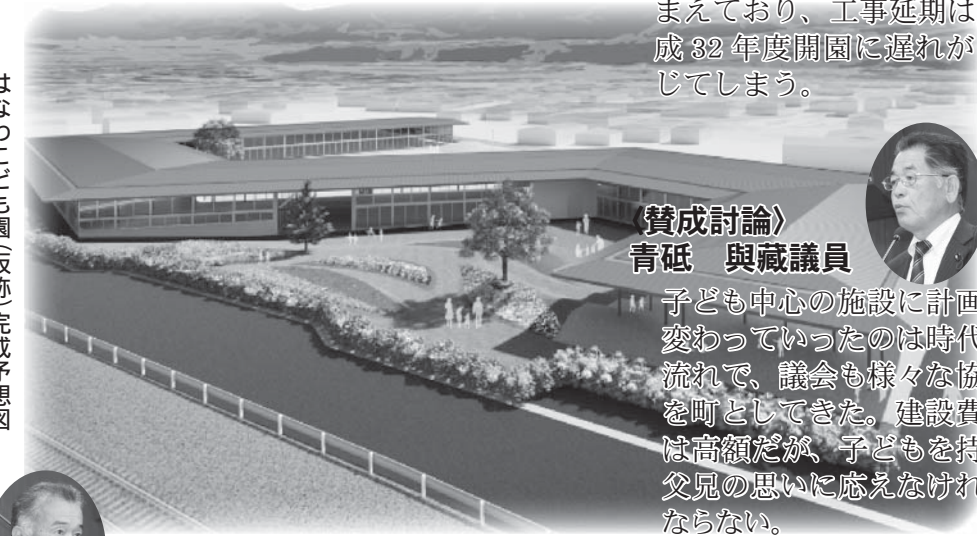
町長は補助金獲得に何ら手を打っていない、町民の負担過重となる。開園を先送りしても新たな補助金確保をすべき。



〈賛成討論〉 吉田 広明議員

事業費の 64% が補助金や過疎債で補助金は少ない。レイアウト変更などの協議を重ね十分な経過を踏まえており、工事延期は平成 32 年度開園に遅れが生じてしまう。

はなわこども園(仮称)完成予想図



〈賛成討論〉 青砥 與藏議員

子ども中心の施設に計画が変わっていったのは時代の流れで、議会も様々な協議を町としてきた。建設費用は高額だが、子どもを持つ父兄の思いに答えなければならない。



〈反対討論〉 吉田 克則議員

工事ありきの入札行為。園の教育や運営方針が示されておらず、将来を担う子ども達を見据えた建設とは言い難く容認できない。



〈賛成討論〉 鈴木 茂議員

こども園建設は不可避。ただ重い課題として、町は少子化対策を町長先頭に全力で行わなければならない。

その他の審議

この他に、町長が平成 30 年度埜町一般会計補正予算（ふくしま森林再生事業など 1248 万円追加）と、農業集落排水処理事業特別会計補正予算（公共施設工事費 248 万円追加）を全会一致で可決した。

（質疑）
Q 以前に協議をしてきた多世代交流センターなどの考えはなかったか。
A 計画当初はあったが、予算的な問題でこども園とした。
Q 入札参加資格確認の手続きはどうだったか。
A 書類等の確認で適正な事務執行であった。
Q 過疎債の償還と交付税措置のタイミングは、
A 償還期間は 9 年で、毎年交付税措置される。

委員会レポート

予算決算常任委員会報告

埴町振興計画案（平成 31～33 年度）について

- ・調査日 平成 30 年 12 月 5 日（水）
- ・場所 議場
- ・出席委員 小林達信委員長
ほか委員全員（計：13 名）
- ・説明員 町長、教育長、各課等の長
- ・調査まとめ
- （1）今後 10 年間の財政見通しについて
- ・歳入では、消費税増税や事業完了による国及び県補助金減額。歳出では、通信基盤設備更新による建設事業費増加をそれぞれ見込んで、一般会計の予算規模は、2020 年度に 60 億円台でピークとなり、その後 50 億円台で推移すると見込む。
- ・財政調整基金残高は 8～9 億円台で推移する見通し。

（2）概算事業計画について

※現在の計画であり執行は予算計上後となる平成 31 年度

- はなわこども園（仮称）整備 2 億 3,572 万円
- 子育て若者定住促進住宅団地助成 3,900 万円

平成 32 年度

- ふくしま森林再生事業 2 億 7,404 万円
- 湯遊ランドはなわりリニューアル工事 1 億 5,000 万円
- 情報通信基盤施設更新（町内全ての I P 端末交換） 8 億 5,100 万円

（3）委員会内での質疑

- Q 平成 32 年度の湯遊ランドはなわりリニューアル工事の内容は。
- A 現状施設の老朽化がかなり進んでおり、カーペット張替や、エレベーター設置、ロビー前の応接セット、浴室天井、脱衣所の床、送迎用バスの買い替えを検討している。

- Q 台宿からの農業集落排水と公共下水道の接続方法は。
- A 天領大橋を通じて久慈川を横断し接続する。
- Q 旧常豊小学校の跡地利用は。
- A 数社の企業から現地視察の要望があり、町や町民にとって不利益にならないよう検討を進めている。
- Q I P システム事業の大規模改修内容は。
- A 矢祭町では現行機種のまま更新を希望し、埴町はタブレットなどの別機種での更新が安価であるため検討している。
- Q はなわこども園（仮称）整備事業の詳細について。
- A 地方債計上分（過疎債）の 7 割が交付対象となる。委託料の詳細は保安管理や設備管理及び維持に関するもの。
- Q 産業祭及び流灯大会への補助金増額の詳細は。
- A 産業祭は 2019 年が 30 回記念となり内容を充実させたい。流灯大会は昼の部イベントに賑わいを持たせる計画である。

（4）意見

個別事業計画は平等性を欠く事業も含まれており、今後の予算作成にあたっては効率性や効果性の観点を十分精査した上での予算計上を望む。



総務常任委員会報告

ふるさと納税に対する埴町の取り組みについて

- ・調査日 平成 30 年 10 月 30 日（火）
- ・場所 委員会室
- ・出席委員 鈴木安次委員長
ほか委員全員（計：7 名）
- ・調査まとめ
- （1）ふるさと納税概要
- 多くの人が地方の故郷に生まれ、その自治体から医療や教育など様々な住民サービスを受けて育ち、やがて進学や就職を機に生活の場を都会へ移し、そこで納税をしている現状から、生まれ育った故郷の自治体は税収の恩恵を受けられず、恩返ししたい思いを形に導入された。都市と地方の税収格差是正を目指した「地域の活性化」という本来の趣旨は納税という寄付。
- （2）返礼品について
- 寄付に対する御礼が「返礼品」であるが、

この高額化は故郷にお返しするという意味合いが薄らぎ、返礼品目当ての事業になっているのが現状。実質的には返礼品負担が大きくなるという市町村が増える結果となり、総務省が制度の趣旨に沿った対応を徹底するよう指示があった。

（3）埴町の対応について

ふるさと納税をしていただいた方に、礼状や季節の案内、季節野菜の送付など行政が丁寧に対応する事で、つながりある親戚付き合い企画になれば良いのではないかと。



ふくしま森林再生事業について

- ・調査日 平成 30 年 10 月 30 日（火）
- ・場所 現地及び委員会室
- ・出席委員 鈴木 茂委員長
ほか委員全員（計：7 名）
- ・調査まとめ
- 本事業の計画及び進捗状況について、東河内一本木工区・台宿稲沢工区の現地調査をした。埴町では事業開始の早い段階から町内の森林材積をレーザー航測で調査し事業に取り組んだ。これまでに大蔵・田代地区などを終了し、今後は板庭・殿畑を実施する予定であるが、その他の要望箇所も多く専門知識を持つ職員の人材不足が、事業の推進の妨げになっている。事業の重要性や平成 32 年度で終了する事を考えると、早急に対策を考えるべきである。
- 次に、笹原財産区・木野反工区での新し

い間伐施業の带状間伐について説明を受けた。幅 30 メートルの带状間伐は杉・檜の植林を実施し、事業を活用し下刈り・除伐・間伐を定期的実施し整備と保全に努めていく（林業専門職の方からは不評の意見を聞いた。）。

最後に、ふくしま森林再生事業は目的や役割は大きく事業継続の要望も強い。ため、今後更に東白川地方町村会や森林組合との連携を強化し、継続の道筋をつけて欲しい。



議会だより モニターさんの声

前回 10 月 19 日発行の議会だより 144 号
に対する議会だよりモニターの声を掲載し
ます。

1. 表紙及び裏表紙について

- レイアウトが良くなった
- 親子が楽しそうな雰囲気が伝わってくる良い写真
- 裏表紙の写真が若干不鮮明だったのが残念
- 季節ごとのタイムリーな表紙になっていて見やすい

2. 9 月定例会関連記事 (P 2 ~ 7)

<決算審査関連>

- 「使いみち」がわかりにくい
- 各事業の詳細説明を入れるとより見やすくなる
- レイアウトを縦書きから横書きにしてはどうか

<定例会審議関連>

- 補正予算「主な事業」を太字で強調すべき

3. 一般質問記事 (P 8 ~ 17)

- 読みやすくレイアウトもちょうど良い
- 各議員によって写真や余白の使い方を統一すべき
- 質問と答弁は一括してまとめて書いた方が見やすい

・導入部分で議員のページと質問項目がまとまっていて見やすい

4. 後半ページ (8 月臨時会、委員会レポート、議会動静など)

<追跡レポート>

- 余白が目立った
- 一般質問ページと違い内容簡素化で見やすかったが、今回は単調になりすぎている

・もう少し内容を多くすることで、質問者の熱意が伝わり町政へ関心を持つ人が多くなるのではないか

<委員会レポート>

- 総務と経済でどちらも Q & A 方式で統一してはどうか

5. その他ご意見など

- 全体的に写真やイラストで余白が目立たない工夫がよかった
- 時間がない人でも読みやすくなる工夫が欲しい
- 毎回知恵を出した議会だより作成に敬意を表したい



私もひとこと

委嘱されたモニターさん 2 人に議会だよりについてご意見をいただきました。



さとう きよみ
佐藤紀代美 (埴)

議会だよりから見えるもの

議会だよりモニターをやらせて頂いて一番自信変わったことは、「議会や町政」に関心を持ってた事だと思えます。必然的に議会だよりを熟読する機会が増え、今町では

何が起き、各議員はどう思い、それについて町政はどう動くか、分かります。分かりやすく伝えられておりとても便利なツールです。「何も無い町はなわ」と皆さん口にしませんが、「こんなに真剣に町を向上させようとする人々が集う町はなわ」である事を、ぜひ議会だよりの中で見つけてください。



きくち てつや
菊地哲也 (植田)

民意との距離を感じる議会

議員の定数や報酬削減については、色々な考え方があり、思います。前回の選挙で多くの議員が議会改革や議員定数及び報酬の削減を言っており、また町民アンケートで

の「定数と報酬削減」に賛成多数との結果から見ると、今回の定数 1 名減、報酬増額という結論に多くの町民が議員との距離を改めて感じたと思います。議員が「町民が議会に関心を持たない」と言われますが、増々関心が無くなつていくと思えます。

議会の動き

総務・経済合同視察研修を実施



横手市議会議長あいさつ



移住された佐藤氏 (写真中央) とともに

11 月 5 日から 7 日にかけて総務及び経済常任委員会合同での視察研修を実施しました。秋田県横手市では、山間部のバス赤字路線問題から、新たな地域公共交通の実証実験を経た住民運営型コミュニティバス運行の取り組みについて、新潟県十日町市では、都市部から実際に移住し農業を営むスノーデイズファーム(株)佐藤可奈子氏による移住施策と移住先での農業実体験をそれぞれ研修してきました。どちらも埴町が抱える問題の先進的事例であり、今後の議会活動の参考となりました。

議会活動出欠状況

平成 30 年 10 月 1 日 ~ 12 月 31 日

年月日	会議名称	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	高縁光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
30.10.11	広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.10.11	福島県教育庁特別支援教育課長による説明会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.10.23	町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.10.30	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.10.30	経済常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.10.31	宮城県七ヶ浜町議会視察(議会広報関係)	私用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.11.5-7	総務・経済常任委員会合同視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	私用	○	○	○
30.11.9	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.11.9	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.11.9	11 月臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.11.22	茨城県高萩市議会との県道整備促進関連研修	○	○	○	○	傷病	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.5	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.5	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.11	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.13-17	12 月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.13	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.13	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.13	経済常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.13	広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.17	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.17	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30.12.19	東白川地方議会議員研修会	○	傷病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病氣・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。○出席 一該当外

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：はなわ軽音楽倶楽部R・S・F(ロイヤル・ストレート・フラッシュ)
会長：金子 公一 (TEL：43-1389)

音楽による 地域文化発展と活性化

当倶楽部は一時解散を
していましたが、5名の
メンバーで活動を再開
し、週1回町内の施設
で練習し、埴町コミュ
ティプラザでの無料コン
サートを年1〜2回開催
しています。主なレパー
トリーはジャズ・ポップ
ス・フォーク・アニメソ
ングで、演奏する曲目は
各自メンバーが持ち寄っ
たものから決めていま
す。毎回ゲストを迎え、
楽しんでいただけるよう
コンサートを企画し、町
内外からもたくさんの方
に会場いただけることが
が、大変励みになってい
ます。これからも応援よ
ろしく願います。ま
た出張演奏も随時募集
中ですので、ぜひお声掛け
ください。



コンサートにぜひお越しください

編集後記

平成30年10月に、東
京都内で開催された全
国町村議会広報研修会
において、①読み手に
伝わる文章の書き方、
②デザイン力でもっと
伝わる紙面、③全国最
優秀者賞作に見る編集
力の3項目について研
修してきました。はな
わ議会だよりによつ
て、議会の動きが伝わ
る紙面の編集や企画が
評価されるよう、広報
常任委員全員で研鑽し
て参ります。一人でも
多くの町民に議会だよ
りを見ていただき、積
極的に行政へ参画され
ることを期待します。

青砥 與藏

あなたも議会を 傍聴してみませんか

平成31年3月定例会は
3月7日(木)からの予定です。

場所 役場2階 議場
(※氏名記入などの簡単な手続きで傍聴できます。)

広報常任委員会

委員長	吉田 克則
副委員長	下重 義人
委員	高縁 光
委員	青砥 與藏
委員	吉田 広明
委員	七宮 広樹